

# 育成 かながわ

【発行責任者】

神奈川県手をつなぐ育成会 会長 中川孝子  
〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2  
神奈川県社会福祉センター内

TEL : 045-323-1106 FAX : 045-324-0426

URL : <https://ikusei-kanagawa.jp>E-mail : [ijkanagawa\\_k@yahoo.co.jp](mailto:ijkanagawa_k@yahoo.co.jp)

KANAGAWAKEN TENOTUNAGU IKUSEIKAI



## 会長挨拶

令和7年度も、全国で唯一の知的発達障害児者当事者団体としての役割を果たすために様々な活動を展開していきます。

昨年度に引き続き防災あんしんブックの第2弾や研修会等を予定していますので、皆様ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

会長 中川 孝子



## 令和7年度 神奈川県手をつなぐ育成会総会

4月18日(金) かながわ県民センター

令和7年度総会が開催されました。来賓の方々にご挨拶いただいた内容をお伝えします。



神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課  
課長 山下智樹様

今年度より障害福祉課長となりました山下です。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、神奈川県手をつなぐ育成会の令和7年度総会が、このように盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。



神奈川県手をつなぐ育成会の皆様には、知的障がい児者やそのご家族のネットワークづくりはもとより、障がい及び障がい児者に対する県民の理解を深める研修事業の実施などを通じて、知的障がい児者とそのご家族の福祉の向上に格別のご尽力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本日は、障害福祉関係の令和7年度予算や新たな事業についてご説明させていただきます。

令和7年度の当初予算について、障害福祉費の増加率は、前年度に比べ108.4%となっています。これは障害福祉サービス利用者の増加に伴う障害者自立支援等給付

費の増加が見込まれるためです。障害福祉の関連予算は年々増加しています。

個別の事業についてです。県が新たに取り組む主な事業として、令和8年4月に予定している県立中井やまゆり園の地方独立行政法人への移行に向けた事業などがあります。

障害福祉課の新たな取組をいくつかご紹介します。

はじめに、「障がい福祉の支援体制づくり」として、新たに3つの事業 ①医療的ケア児者歯科人材養成事業 ②医療的ケア児等支援者養成事業 ③高次脳機能障害支援者養成事業を実施します。

また、「障がい者の多様な働き方の推進」として、新たに3つの事業 ①障がい者の多様な働き方推進検討会 ②障がい者就労アセスメント理解促進事業 ③障がい者就労相談基盤整備事業を実施します。

県としましては、今後とも障がい児者に関する理解促進と社会参加の推進に努め、「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けて、皆様と力を合わせて進めてまいりたいと考えていますので、ご理解と一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(一社) 神奈川県知的障害施設団体連合会  
会長 出縄守英 様



当会は様々な福祉事業所が437集まったオールかながわの連合会です。

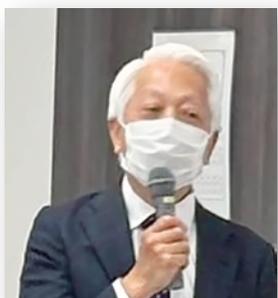
ご本人の暮らしにおいては、車で例えると家族と支援者が両輪となり、ご本人がドライバー

となって、ご自分の意思でハンドルを切って、自分の人生を進みます。我々は安全な運転ができるようにセーフティネットをつくり支えていきたいと考えています。

また、昨年は能登半島地震に係る応援職員派遣事業として5月12日～11月9日までの5か月間、延82名の職員が1週間ごとに輪島市の仮設住宅や能登町の入所施設に応援に入りました(延570日)。一番勉強になったのは福祉施設が防災の拠点であったということです。非常時だけではなく日頃から地域の人たちと繋がっていることが大事だと実感しました。



(一社) やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
理事長 市川高弘 様



昨年は一身上の都合で宮崎に帰ることとなり総会に欠席したことをお詫び申し上げます。

この度新しくなりました総合保障制度については昨年末に決定されました。説明会が2回し

かできずに、皆様にはご心配をおかけしました。値上がりしても内容が伴わないということにならないように、県下1万人の会員の皆様にはサービスの充実を強化してまいります。皆様のデータをクラウド管理にし、また職員を1名増員し業務の標準化を図り、より良いサービスの対応ができる体制を整えてまいります。まだ加入されていない方もお気軽に相談いただければと思っています。

(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会  
常務理事兼事務局長 又村あおい 様



全育連が所属しているJDF(日本障がいフォーラム)の一員として、一週間能登へ行ってきました。まだ家もつぶれたままで大変な状況でした。大きな災害が起こると動きが取れる人は別の場所に出ていき、高齢者と障害者だけが取り残されるという現象が起こります。今回直接支援をさせていただいたことは、ほぼ通院介助でした。全育連としても、通院の際にはヘルパーが車を運転できることを要望事項に出していきます。今回の経験から、日頃からのつながりを作っていくことが大切と改めて感じました。

成年後見制度の見直しは今年の11月までに中間取りまとめまで進むと法務省で示されました。全育連からも情報を流しますが、パブリックコメントを取るのをご注目いただければと思います。障害福祉サービスの関係については今年度は動きがありませんが、次回の報酬改定に向けて要望書を出し続けることが大切です。

最後に、全国大会が11月8、9日に東京蒲田で開催されます。ふるってご参加ください。今回から会員外でも参加できるようになりました。「育成会ってどんなことをやっているの?」と、特に若い世代の親御さんが育成会に入るきっかけになればと思います。そうそうたる講師陣の顔ぶれとなっていますので乞うご期待ください。

今年度も研修会では県内各所に回らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

総会報告

出席者 30名、委任状 20名の計 50名により本総会は成立しました。また議長に逗子支部

山田弘子さんが選出され、議案については全て賛成多数により承認されました。



## 危機管理防災課講演

神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課  
千野勇生 様

### 「新たな地震防災戦略について」の講演を聞いて

育成会を含む様々な団体からのヒアリングを参考に策定された「新たな地震防災戦略」、その目指すべき将来の姿は「誰一人取り残さない防災」としています。その目標達成のために5つの視点が定められ、特に『災害に弱い立場に目を向ける』視点では、自助・共助・公助のあらゆる取組について徹底して当事者目線に立って推進していくことが掲げられています。

またこの取り組みを達成するために10個の重点プロジェクトが定められました。その中でも育成会に関連深いプロジェクトの『要配慮者対策』について、まず県の取組としては自宅の耐震化や危険区域からの転居等、在宅避難の取組を支援、福祉避難所においては運営体制を強化すること、次に県民や事業者の取組としては共助としてとても重要となる地域での顔の見える関係づくりを行っていくこと、そして市町村の取組としては個別避

難計画の策定を進め円滑な避難の支援に努めていくこと、とのお話がありました。

後半は、今年度の施策についての説明で、『私の被害想定』というデジタル技術を活用した仕組みについての紹介がありました。災害発生時に直面する場面と取るべき行動、事前の備えなどをスマートフォンで検索・確認できるようになるとのことです。こちらは現在開発中だそうです。また、すでに運用中のLINE公式アカウント『かながわ防災パーソナルサポート』も機能が拡充されることですのでぜひ活用していきたいと思います。

今回の講演を聞いて、県の最新の取組を知ることができ、大変参考になりました。私たちの防災意識の向上と災害時における不安が少し緩和されたと思います。

なお、危機管理防災課との懇談報告は7ページ、要望については6ページに記載しています。



## 輪島からのメッセージ その2



地震から1年半、豪雨から9ヶ月が過ぎました。復旧が追い付かず未だ水道・電気が通っていない世帯があります。解体が進み様子が変わった町…落ち込みそうになりますが、元の暮らしを取り戻そうと皆前を向いています。今は穏やかな山海の景色が励ましてくれている気がします。明るい話題も増えてきました。

3月に「啓発キャラバン隊ぴーすのたね」が全員そろって活動する事が出来ました。小学生と地域の方が参加。皆さんの笑い声を生で聞けて本当に嬉しかった

たです。4月は復興コンサートに招待され観光バスでお出かけしたり、又村さんが訪問して下さったり、本人達も大喜び。5月は輪島市育成会で茶話会。市外に避難している一家族を除き、地震後初めて皆で集まり「これまでの事、これからの事」を話しました。そして、7月には元の場所で再建中の我が家が完成予定です。

今、私は輪島市社協で災害たすけあいセンター見守り・相談支援の仕事をしています。訪問・聞き取り等で8050問題、行政との繋がりがなかった支援の必要なご家族の問題が浮き彫りになり、日頃から人との繋がり、まさに「手をつなぐ」と言う事がいかに大切かを感じております。

まだまだ長い道のり、皆さんの応援を力に無理せず進んで行きたいと思います。

ぴーすのたね 山本多恵子



**三浦** 5月 総会 7月 研修会  
 11月 みうら市民まつりバザー 障害基礎  
 年金 DVD 学習会 (秋予定) 12月 バスツアー  
 幹事会 (11回) → 幹事会日より発行  
 三浦まんぼうクラブ・おさんぽまんぼうで本人の体カづ  
 くりや余暇活動 本人部会は独自で活動

**鎌倉** 5月 総会、懇親会  
 10~12月 バス旅行 施設見学  
 1月 新年会 音楽療法・太鼓 (毎月)

**逗子** 5月 総会 9月 バス旅行  
 12月 ふれあいフェス 3月 お楽しみ会  
 おしゃべり会 (毎月) 市長面談 勉強会  
 逗子市スポーツ協会共催「みんなでプロジェクト」(毎週)

**葉山** 6月 総会 8月 納涼会  
 10月 バリアフリーヨット大会 1月 新年会  
 カラオケ大会 バス旅行 (全国大会参加) など

**平塚** 年3回の会報発行と、パンフレットの  
 リニューアル ホームページの他、グーグル  
 マップとインスタで「ともいきスペース」の情報発信  
 バス旅行 親睦会 福祉会館まつり  
 8月 成年後見制度研修会 障害基礎年金 DVD 学習会  
 (秋予定) 設立70年に向けての企画準備スタート

**大磯** 今年度も湘南西部ブロック会議での情報交換  
 や協働行事への参加を主に、地域の会員以外  
 の当事者家族・事業所などとの連携も進めていきたいと  
 思います。

**二宮** 毎月第4金曜日 定例会  
 なのはな、カンナカンナ運営委員会に参加  
 自立支援協議会への参加 5月 総会  
 9月 ふれあい福祉のつどいに参加 10月 日帰りレク  
 12月 クリスマス会 2月 勉強会 その他



**茅ヶ崎** 昨年新入会員の新しい活動を計画。  
 11/7「防災」に関する研修会と防災実践を計画  
 県「ともしび号」を利用したバス旅行 (7月・2月予定)  
 新成人を迎えて新年会 (1月)  
 年4回情報交換や親睦を兼ねた「いく・育・カフェ」開催  
 会員間の意見交換や会からの情報発信を一層進めていく1  
 年に 今年度も藤沢・寒川の支部と連携して「障害基礎  
 年金 DVD 学習会」等研修会を計画予定

**藤沢** 4/30 総会 6月・11月 地区別懇談会  
 8月 市に要望書提出  
 12月 ふれあいフェスタ参加 他に研修会  
 月1 回定例会 会報誌「手をつなぐ Fujisawa」発行

**寒川** 定例会 (5/11 7/13 9/14 11/9 1/18 3/8)  
 本人支援レク「ボウリング大会」(7/27、2/15)  
 4/19 福祉団体協議会総会 寒川手をつなぐ育成会総会  
 5/31 「福祉活動センター祭り」  
 6/18 研修会「親なきあと」「親あるあいだ」の準備相談  
 室ココらぐ 講師 横田暁氏  
 9/20 福祉団体協議会研修会バス研修  
 10/4 「ふれあい福祉フェスティバル」  
 11月 研修会 1/18 新年会

**県育成会** 9/18 横浜市在住の会員と懇親会を開催

- ✓ 障害基礎年金 DVD 学習会
  - ▶ 記載以外の支部や地域も計画中
- ✓ 各ブロック毎にまとめて掲載しています。

未来あんしんサポート

「知的障がい」や「自閉症」「発達障がい」「ダウン症」等の障がいのある  
 お子さまのために「**親なきあと**」をサポートするご提案です

**未来あんしんサポート**

障がいのあるこの子が  
 お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に  
 困らないようにしてあげたい。

自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる  
 お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を  
 確実に未来へのこします

『未来あんしんサポート』は、(株)ジェイアイシーが  
 ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた  
 サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ  
 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ  
 ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル  
 0120-580-503 通話料 無料  
 受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は[未来あんしんサポートリーフレット]をご覧ください。●(株)ジェイアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命  
 保険会社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会  
 社が承諾したときに有効に成立します。●株ジェイアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取  
 扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2025年5月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

**株式会社ジェイアイシー**  
 本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
 新宿三井ビル2号館2F  
 ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]  
**みずほ信託銀行株式会社**

[生命保険引受保険会社]  
**第一フロンティア生命保険株式会社**  
 または  
**マニライフ生命保険株式会社**

MLJ(営教)25050326

**厚木** 6/29 日帰りバス旅行（山梨方面）  
 毎月 スポーツ教室  
 隔月 おしゃべり会（会員外の方も参加できます）  
 そのほか研修会、親睦会を予定しています（日時未定）  
 役員会は8月と1月を除き毎月開催

**秦野** 4/26 2025年度総会  
 5/17 グランドゴルフ大会  
 7/10 応急手当講習会 12/13 クリスマス会  
 2/21 防災講習会 その他 バスレクを予定しています。

**伊勢原** 6月 ボウリング会 7月 会員総会  
 10月 道灌まつりバザー出店  
 バス日帰り旅行 11月 みかん狩り  
 12月 ふれあい福祉まつり  
 1月 新年の集いと二十歳を祝う会

**愛川** 4/5 総会 6/28 日帰りバス旅行  
 9月 勉強会 10月 芋掘り大会 11月  
 麺販売 12/13 お楽しみ会 2月 会員親睦会  
 役員会は4、6、9、11、1、3月

**いんくる** 5/11 父母会 6/8 ピクニック  
 7/6 父母会  
 9/7 保護者ホーム大掃除 & 父母会  
 10月 チャリティバザー準備  
 11/3 秦野市民の日チャリティバザー出店  
 11/15 父母会&保護者・職員・支援者親親会  
 1/18 父母会 3/15 父母会

**紅梅学園** 6/8 に総会を行います。  
 全体会は年5回、他の月も入所施設である  
 紅梅学園の家族だけの集まりは行います。  
 施設と共催する紅梅祭りを11月に計画しています。  
 施設との連携強化の取組を行います。  
 関連団体と連携した各種勉強会を計画します。

**大和** 防災研修会～非常食を作る、食べる体験  
 あんしんノート勉強会 施設見学会  
 激励会バス旅行 居場所づくり 本人活動企画 余暇活動

**海老名** 4月 総会 6月 さくらんぼ狩り  
 7月 施設見学 10月 バーベキュー  
 1月 新春お楽しみ会 2月 福祉講演会

**座間** フライングディスク（毎月）  
 6/17 東日本震災ドキュメント映画の視聴  
 歯科研修会（時期未定）お芋掘り（秋）  
 その他障団連主催の運動会 バス旅行 研修会参加

**綾瀬** 人権啓発トークショー 2025「してみない？  
 支援の断捨離」（8/1）と、高齢化した会員さん  
 たちの現状を踏まえて、皆で助け合う関係性について学  
 ぶ事業を教育委員会、地域包括など行政を巻き込んで開催  
 していきます。

**相模原** 会員の親睦を図るための交流会（7月・  
 11月・2月予定）9月 日帰りバスハイク  
 年に4回、会報「こぶし」を発行します。  
 5月の決算総会には、行政懇談会を同時開催します。

**小田原** 5/19 総会 9/24 座間キャラバン講演会  
 11月 信託保険勉強会 茶話会・レクリエー  
 ション・長期休みを除き月1回定例会等、これからも意  
 義のある活動を行っていきたくと考えています。

**箱根** 4/22 総会 5～6月 地域啓発活動  
 7～8月 ボランティア交流会 9/30 健康  
 福祉フェスティバル参加協力 10月 学校卒業後の福祉  
 サービスについての学習会 11/8～9 全国大会参加  
 11/30 仙石原文化センターまつり参加協力 12/3 障  
 がい者週間地域啓発事業ふれあいミニコンサート♪演奏  
 福井真澄さん（映画音楽、Jポップ他）1～2月 親睦会  
 地域啓発活動 3月 年間総括 総会準備

知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の  
**生サポは 家族の安心を支えます**

当会にご入会いただくと、  
 知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための  
 病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

**生活サポート総合補償制度**

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。  
 特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セッ

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金 ※プランによって補償します	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー**  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
 新宿三井ビル2号館2F  
 TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774  
 受付時間：午前9時～午後5時  
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**東京第二プロチャネル営業部**  
 〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階  
 TEL：03-5401-3660  
 受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会**  
 〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号  
 神奈川県社会福祉センター5F  
 TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426  
[http://yurisapo.jp/index\\_qhm.php](http://yurisapo.jp/index_qhm.php)

## 予算要望

令和8年度予算要望について3つの要望と1つの請願を提出しています。

### ① 暮らしについて

▶ 包括型グループホームにおいて、本人の体調不良など、日中もグループホームで支援を受けた場合は加算がつくと聞き安堵しましたが、加齢に伴い日常的に医療ケアが必要になる方はいます。看護師配置などの対応ができないことを理由に退去を求められることがないようにしてください。また、健康診断や歯科検診が知的障害者に受診しやすい環境になるよう市町村とともに取り組んでください。

▶ 入所施設の方は利用したくても移動支援は支給されない市町村がほとんどです。意思決定支援により本人から外出希望があった場合には利用できるよう、県は市町村に条件緩和ができるよう支援をお願いします。

▶ 障害者のグループホームが増えていますが、最重度知的障害や強度行動障害の方を受け入れるグループホームは不足しています。入所施設にも入れず悲観した痛ましい事件は後を絶ちません。家族が対応できなくなる時のことを考え、選択肢を用意してください。また、入所施設からの地域移行だけでなく、在宅からグループホームへの移行にも施策を講じてください。県立グループホームは、サテライトとして地域の緊急時の受け皿となり、専門性を持って地域に開かれた施設となるよう要望します。

▶ コロナきっかけもあり、現在福祉サービスの利用をしていない在宅状況の障害者の方が一定数いると感じます。家族頼みの暮らしが長引くと、福祉サービスや情報からは取り残されていきます。事業所に登録されていても通えない方を含め、まずは在宅状況の方がどの程度いるかを調査してください。当事者の申告がないとわからないのでは「誰一人取り残さない」は実現しません。調査できる方法が必要です。そして支援対策も検討してください。

### ② 防災啓発の取り組みについて

▶ 県で作成される「私の被害想定」サイトでは、選択肢をチェックし、診断結果が見られるイメージですが、選択項目の「支援が必要」という部分は、具体的にどんな支援が必要なのかを選べるように、また複数選択も可能にしてほしいです（見えない・話せない・聴こえない・歩けない・パニック・判断困難・医療機器が必要、など）。そして選択結果にも文字だけでなくイラストなども使って、具体的な対策や備えを表示してほしいです。できれば結果の情報もデータとしてダウンロードできるようにしてください。また、最初の画面で、「易しい表示」の選択ボタンで、ルビ付き画面に切り替わるなどの配慮をお願いします。

▶ 子ども向けの啓発冊子や啓発動画は、知的障害者にも分かり易いのではと期待をしています。易しい言葉やふりがな、イラストや写真などを使い、分かり易いものにしてください。

▶ 県としてトイレカー 10 台（一般 5 台・バリアフリー対応 5 台）の予算を確保され、分散配備の予定とお聞きしました。今後も障害児者に向けた県の取り組みについて情報発信してください。

### ③ インクルーシブ教育の現在と今後について

▶ インクルーシブ教育実践推進校は現在 18 校となり、通いやすい場所に選択肢が増えましたが、ほとんどの学校で定員割れとなり、中には半数以下のところもあります。就職支援や福祉の情報不足なのかと懸念します。様々なスタイルの学校も増えていますので、学校選びが大切です。ご本人・家族・中学校には、充実した進路情報を提供してください。また、インクルーシブ教育実践校ができて 10 年が経ちます。現時点での総括と今後の見解を公表してください。

▶ インクルーシブ教育実践推進校をはじめ、定時制、通信制、クリエイティブスクール、フリースクールなど、学



びの場は増え、軽度知的障害や発達障害、グレーゾーンと言われる生徒も少なからずいます。「インクルーシブ教育実践推進学校全 18 校の進路担当教員向けに、就労や福祉の情報を共有する場がある」とお聞きしました。学校を問わず、障害を容れている生徒とその保護者には、障害基礎年金の申請や就労支援、就労定着支援などのサポートを支援学校と同様に受けられるよう、また、療育手帳がなくても受けられる福祉サービス等の情報を本人や保護者に提供し、卒業後も福祉に繋がれるような配慮をお願いします。

▶ 人事異動の際は、知的障がいの専門知識のある教員が必ず居るように配慮をお願いします。

▶ 海老名市の進める「フルインクルーシブ教育」の取り組み状況について、県としての継続的な情報発信をお願いします。また幼児期からの切れ目のない支援と学齢期の施設・人材両面の整備を進めてください。

## 請 願

### 神奈川県社会福祉センターにおける賃料助成について

▶ 沢渡にあった県社会福祉会館の老朽化に伴い、令和 3 年 7 月に現在の反町に事務局を移転しました。その際、5 年の緩和措置で 50%の賃料の減免措置を受けていますが、年間 21,710 円だった賃料は半額でも年間 130,178 円とおよそ 6 倍になりました。令和 8 年度に減免措置がなくなれば更に 2 倍に跳ね上がり、活動継続危機の死活問題です。部屋は他団体との共同利用で、育成会の占有スペースはわずかに机 1 つ分ですが、関係各所との連絡など事務局の設置は必要不可欠ですし、ともに生きる社会の実現の為、私たちの活動は行政にとっても不可欠だと自負しています。関係団体と共に、期間限定ではない継続的な賃料助成の請願を提出しました。

(福祉施策検討委員会)

## 懇談報告

### 県教育委員会との懇談

5月20日

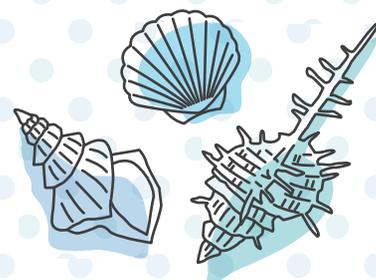
「インクルーシブ教育推進フォーラム」の記録から、インクルーシブ教育推進課があるのは全国でも神奈川県だけと知ったが、進んでいるのかと質問したところ「全国的に見て進んでいるというわけでない。平成 27 年 4 月に課を立ち上げたが、障がいの有無に関わらず、全ての子どもを対象に取り組みを継続することが重要。ゴールは無いが、もし十分な状況になれば解散できるのかもしれない。」とのことでした。各所での意見交換を中心に取り組みを進められています。この懇談を基に要望③をまとめていますのでご確認ください。



### 県危機管理防災課との懇談

5月22日

災害時の行政や消防、医療など、重要な情報については、電話やネット、SNS 以外にも幾つかの連絡方法が確保されているそうです。また、防災あんしんブックでもご紹介した、県の公式 LINE「かながわ防災パーソナルサポート」には、今年度制作する「私の被害想定」のサイトも繋がるそうです。是非登録しておいてください。この懇談を基に要望②をまとめていますのでご確認ください。





### 今後のお知らせ

## 人権啓発トークショー2025 「してみない? 支援の断捨離」



日時：2025年8月1日（金）

10:00～12:00

場所：綾瀬市オーエンス文化会館小ホール

講師：羽村 龍 氏

主催：綾瀬市手をつなぐ育成会

共催：神奈川県手をつなぐ育成会

## 全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 東京大会/本人大会

### 「ともに生きる社会を目指して」

日時：2025年11月8日（土）・9日（日）

場所：日本工学院専門学校（蒲田キャンパス）

今年度は会員外の方も参加できます。

会場が近くですので、皆さま

お誘いあわせの上ご参加ください。



**大 好 評 ！** ダウンロードしてお役立てください

### 防災あんしんブック



### 子育て応援ブック

子育て  
応援  
ブック



## 県育成会研修会

### zoomによるオンラインセミナー

日時：2026年1月22日（木）

講師：又村あおい 氏

内容：成年後見制度改正の中間報告から

成年後見制度がどのように

変わるのかの解説をしていただきます。

共催：ジェイアイシー



## 編集後記

「支部情報」に支部ごとの年間を通した活動が載っています。学びあり、楽しいイベントあり、様々な機会にお互いが知り合ったり、つながりが続いていくと、

今や、少し先の将来への安心になるのだらうと思います。「共に生きる」ためにも、各所へ要望をお伝えることを通して顔の見える関係性であることや、私たちの実体験に基づく話をお伝えしたり、立場を超えて、みんなで考え続けることも大切なのだらうと思います。（広報委員 A.A）



一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

# 手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？

(※) ぜんち共済お客様アンケートより



手をつなぐ  
がん保険  
3つの特長

1

代理手続き  
代理告知が可能  
障害のある方向け  
プラン

2

告知対象  
疾患の緩和  
障害のある方向け  
プラン

3

“親なきあと”に  
備える補償  
障害のある方  
ご家族向けプラン

加入できます！

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の榎本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また又村事務局長による加入方法のご案内もごさい。ぜひご覧ください!!

障害のある方と  
そのご家族をワイドに  
お守りする  
保険です



動画はこちら▶

<https://youtu.be/fEg9QDNV6wM>



詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073  
東京都千代田区九段北3-2-5  
九段北325ビル4階

**ぜんち共済株式会社**  
0120-322-150

URL: <https://www.z-kyosai.com/>  
平日10時～16時 / 土日・祝日・年末年始を除く

Z011-2409R10

[引]受保険会社]

**東京海上日動火災保険株式会社** 東京都千代田区  
TEL: 03-3515-4126 / 平日9時～17時 三番町 6-4

WEBからも  
資料請求  
できます

資料請求  
フォーム▶



※契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。